

1. 東日本大震災への対応



海上に漂流している瓦礫の中を潜水搜索する潜水士



巡視船「はかた」への支援物資搬入の様子



航空機MH806「わかまし」への支援物資搬入の様子



被災者への入浴支援の様子
(巡視船「ちくぜん」船内)



巡視船の燃料を提供する様子
(巡視船「あまぎ」)

海上保安庁では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の救助、救援、搜索活動のために巡視船艇、航空機を全国から投入しています。

この震災による津波の被害は甚大で、青森県から茨城県沿岸の海上及び各港には多くの漂流物があり、搜索活動の妨げとなっています。海上保安庁の潜水士、船艇は漂流物による二次災害に注意しながら行方不明者搜索、漂流物調査を実施しています。

海上保安庁では、震災後の被災者支援活動も実施しています。巡視船及び航空機による救援物資（食料、日用品）や支援物資の搬送、巡視船による飲料水や燃料の提供のほか、被災地の釜石港において巡視船による被災者への入浴支援も行っています。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
03-3591-6361（代表）
（編集・企画）海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

～自己救命策 3つの基本～

海に落ちても沈まない
ライフジャケット
の着用



水中でも大丈夫（防水バックの使用）
携帯電話の携行



海のしものは……
118番の活用



2、震災発生3週間後に漂流家屋上で犬を保護



保護された犬



海上に漂流していた瓦礫の上で犬を保護

4月1日、気仙沼市本吉町末ノ埼の北、約1.8kmの海上において、海上保安庁ヘリコプター「たんちょう」が瓦礫と共に漂流している家屋上に犬を発見。ヘリコプターから特殊救難隊が降下し、漂流する家屋内の行方不明者を捜索すると共に家屋上に残された犬を巡視船「つがる」乗組員と協力し保護することに成功しました。保護された犬は、巡視船により塩釜港へ搬送され、後日、無事飼い主のもとへ帰ることが出来ました。

3、海上保安大学校・海上保安学校入学式



代表学生による宣誓(海上保安学校)

代表学生による宣誓(海上保安大学校)

4月12日に海上保安大学校(広島県呉市)、4月13日には海上保安学校(京都府舞鶴市)において入学式が挙行され、海上保安大学校では新入学生41名(うち女子8名)・特修科研修生23名(うち女子1名)が、海上保安学校では180名(うち女子30名)の新入学生が、それぞれ城野海上保安庁次長から「海上保安庁の旗印である「正義仁愛」の精神を心にしっかりと宿して欲しい」と訓示を受けました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
03-3591-6361(代表)
(編集・企画) 海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室